

○8月16日夕方に中田切川の上流に大雨が降りました。

今年の夏は西日本に大きな被害をもたらした「平成30年7月豪雨」を始め8月になっても東北や各地で大雨が降りました。中部地方整備局管内でも岐阜県を中心に川が溢れたり土砂が流出したりするなどの被害が出ました。



平成28年12月15日の状況



平成30年8月17日の状況

中田切第4砂防堰堤の様子

中田切川の流域でも8月16日の15時から17時頃にかけて激しい雨が降りました。

その雨の影響で山から大量の土砂と流木が流れ、井水の取水口が埋まってしまったりしました。国道153号線上流で工事を行っている現場でも仮締切を乗り越え工事現場が水に浸かりましたが、幸いお盆休みで重機や資材を安全な場所に上げてあったため、重機等の流失や油流出の被害はありませんでした。

またこの大雨で中田切川の一番上流にある「中田切第4砂防堰堤」が満砂になりその下流にある3つの砂防堰堤でも多くの流木や土砂を補足しました。

また「第67号」で紹介した広域農道のふれあい橋上流にある流木止め施設でも多くの流木を補足しました。

もしこれらの施設がなかったら下流や工事現場でもっと大きな被害が出ていたかもしれません。



○台風21号でも土砂と流木を補足 (H30.9.4)



○キャンプ砂防 in 天竜川 (H30.8.29)

毎年恒例となっている「キャンプ砂防 in 天竜川」が8月27日～8月31日にかけて実施されました。

飯島砂防管内では雨の中、源頭部からの崩壊状況調査（ほぼ雨と霧の中だったらしいですが）や黒川第4砂防堰堤を見学し砂防の重要さを勉強していただきました。ちなみにキャンプ砂防とはキャンプをしながら砂防を学ぶわけではありません。詳しくは「第62号」をご覧ください。



○与田切フェスティバルが開催されました。(H30.8.18)

これも毎年恒例となっているフェスティバル in 与田切が8月18日(土)与田切川の与田切公園にて開催されました。今年で26回目となるイベントで、魚つかみ、消防団体験コーナー、ちびっこオフロード体験等の催しを通じて、楽しく森や川へ親しんでもらうことを目的としています。天竜川上流河川事務所では、砂防堰堤の効果を学んでもらう模型の実演と、土砂災害発生時の映像の3D体験を行い土砂災害の恐ろしさや、砂防施設の重要性について、説明しました。



○[よたっこと遊ぼう 2018]が開催されました。(H30.8.26)

前号で紹介した「与田切ネットワーク」主催の子供向けイベント「よたっこと遊ぼう 2018」が8月26日(日)に開催されました。

大雨の影響で川が濁っていましたが、川遊びと水の中の生き物調べや与田切砂防林の中でカブトムシ採りなどの他、お昼には珍しいイノシシ、シカ、アルプスサーモンのバーベキューを行いました。(与田切の砂防施設のPRも少しさせていただきました)

